



現地での対面調査／報告と解説

沖縄の人々は 2.24 に再び明確な答えを出す。

東京や大阪に暮らす我々はそれにどう応えるのか。

東京：2月27日（水）18時半～21時

文京シビックセンター 3階会議室 A

ゲスト／元山仁士郎さん「辺野古」県民投票の会 代表

大阪：3月2日（土）18時半～21時

十三 シアターセブン BOX 3

2月24日、沖縄では「辺野古米軍基地建設のための埋め立て」をテーマとした県民投票が実施されます。「米軍基地の整理・縮小／日米地位協定の見直し」の是非を問うた96年の一度目の県民投票。そして辺野古の基地建設の是非を問うた翌97年の名護市民投票。この2つの住民投票に深くかかわり、現地取材を重ねた今井一（ジャーナリスト。[国民投票／住民投票]情報室 事務局長）が、取材先の沖縄から27日に東京、3月2日に大阪へ移動。24日の県民投票前後に、辺野古、那覇など現地で行なった150人の県民との「対面による聴き取り調査」の結果を示しつつ、沖縄県民投票の報告と解説を行います。同時に東京や大阪など沖縄県外に暮らす人々に突き付けられていることを、きっぱりと語ります。

※参加費：1200円（学生半額）。定員は30人。参加希望者は、2月25日までにメールで申し込んで下さい⇒info.ref.jp@gmail.com 定員に達し次第締め切ります。